



会長:荒木 幸介

Kosuke Araki

任期:2019年6月~2022年6月

私たちは監査及び会計の職業的専門家として、監査業務、会計業務、税務業務の知見を活かすとともに、地方公共団体の公職などを通じて様々な情報の信頼性を確保することにより、南九州地区の経済の健全な発展と公共の利益に貢献いたします。

具体的な施策として、①新しい知識の習得及び資質の向上を図るための各種研修、②公的・非営利団体や中小企業などへの支援活動、③公認会計士業務の広報活動や地域貢献活動、④人材の確保・後進育成のための制度説明会や会計基礎教育のための会計講座「ハロー!会計」等に積極的に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機とした生活様式の変容、グローバル化・デジタル化の急速な進展やサステナビリティへの関心の高まりなど社会経済環境が大きく変化する中で、私ども公認会計士は社会的信頼の確立、プロフェッショナルとしての資質向上、社会への貢献という使命を果たすべく活動しています。

南九州会では、会員への実務支援と自己研鑽や研究発表の機会の提供による資質の向上や、会員とステークホルダーである諸官庁、地方自治体、経済諸団体、課税庁等との連携支援、将来を担う人材育成のための会計士制度の説明や、会計基礎教育の実施を中心に活動を行っております。また、企業内会計士や社外役員など多様なステージで活躍する会員の支援や、非財務情報への対応やデジタル化への対応のための監査の基盤強化にも取り組んでまいります。

南九州会は協会本部と一体となり、地域会として展開すべきこれらの施策を着実に実行し、地域に根ざした会員の活動を支援することで「南九州地域の経済社会活動を支える」という使命を果たすべく努力してまいります。

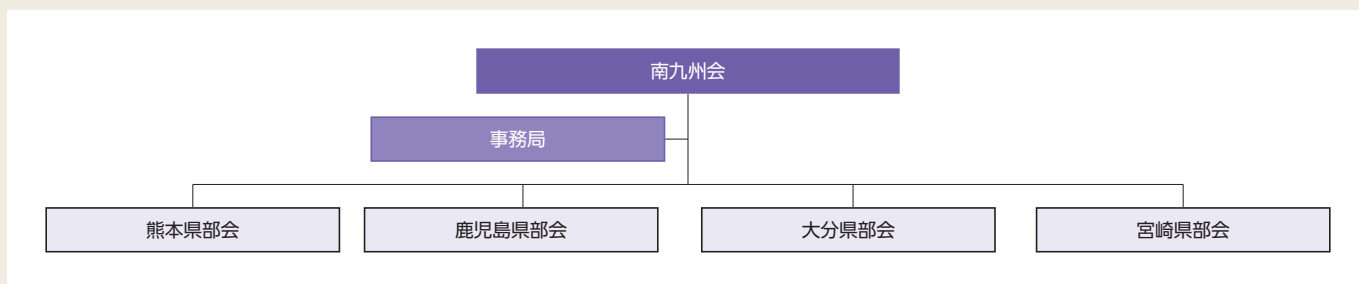


次期会長:高橋 雷太

Raita Takahashi

任期:2022年6月~2025年6月

南九州会組織図 (2022年3月末時点)



会員数の推移 (各年3月末時点)

(名)

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
熊本県部会	51	52	61	60	65	65	67	69	68	69	68
鹿児島県部会	54	57	61	60	64	69	72	74	76	79	81
大分県部会	35	36	38	42	41	41	41	39	40	40	42
宮崎県部会	28	32	35	32	33	33	35	32	32	32	35
合計	168	177	195	194	203	208	215	214	216	220	226

会長	荒木 幸介			
副会長	小川 芳嗣	木下 博義	窪田 真	西村 康晴
幹事	飯村 光敏 徳満 哲司	高妻 和寛 古庄 研二	斉藤 信慶 松野下 剛市	首藤 慶史
監事	田中 克弥	松本 和久		

2021年度の主な活動

1 制度説明会

南九州会では、高校・大学等を訪問し、公認会計士制度や業務について紹介する制度説明会を例年各地で開催しています。当会会員が講師となり、協会パンフレット、DVD及びパワーポイント資料を基に、自身の志望動機や合格体験談、仕事のやりがい等について説明しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、真和高等学校(熊本市)、宮崎県立宮崎南高等学校(宮崎市)の高等学校2校及び鹿児島県立短期大学(鹿児島市)、熊本学園大学(熊本市)の大学2校並びに専門学校東京CPA会計学院熊本校(熊本市)で制度説明会を開催しました。



鹿児島県立短期大学制度説明会



熊本学園大学制度説明会



宮崎県立宮崎南高等学校制度説明会



東京CPA会計学院熊本校制度説明会

2 広報活動 — 新聞広告掲載 —

制度創設以来70年以上にわたり財務諸表監査等を通じて信頼を創り続けてきた公認会計士は、今では監査以外の幅広い領域にも貢献の場を広げています。公認会計士が社会に「信頼」を創り出し、人々に「安心」を届ける役割を担っていることを一般の方にお伝えするため、「社会の安心と信頼のために公認会計士のチカラを」というテーマで、7月6日の「公認会計士の日」に南九州管内4県の地元紙に広告を掲載しました。